

# 青刈大豆の新品種

## 新黒千石の特性



(1) 北海道における成績 (札幌市上野幌育種場)

区分 品種	開花始期 月日	分枝数 本	草丈 センチ	青刈取量				平均	割合
				昭 34	昭 35	昭 36	昭 38		
茶小粒	8.6	7.6	86.0	1,887	2,400	2,827	2,030	2,286	100%
黒田六尺	—	4.0	—	2,240	1,980	2,941	—	2,387	104%
新黒千石	8.12	3.2	97.0	2,477	2,740	3,253	2,730	2,800	122%

(2) 関東・東北地方における成績

区分 品種	関東地方 (千葉市千葉農場)				東北地方 (岩手県農試)				備考
	開花始期 月日	草丈 センチ	分枝数 本	青刈取量 キロ	開花始期 月日	草丈 センチ	青刈取量 キロ	同左割合	
茶小粒	7.21	150.0	4.2	2,400	8.19	134	2,379	100	関東地方 昭34年 東北地方 昭36年 調査
岩手黒目	7.21	129.0	4.4	2,250	8.15	126	2,460	104	
新黒千石	7.16	124.0	5.0	2,640	8.13	106	2,400	101	

種子の生産態勢の関係もあって、目下のところ、北海道、東北、関東地方に限り試

### (一) 各地における試作結果

昨年新発表の青刈大豆「雪印改良新黒千石」は中国産黒秣喰豆と北海道産早生黒千石を交配育種して作出された新品種であります。短期生育で真夏に多収の高蛋白質飼料が得られ、間混作にもよく、試作結果も良好なので、御利用をおすすめいたします。

### (二) その他の特性

#### ○ 葉収量が多い

飼料として利用を考え、特に青刈大豆の利用時期には一般に高蛋白質の青草に乏しい時期でもありますので葉の多いものが貴重になります。「新黒千石」は青草重量の約五〇％は葉で、茶小粒の四〇％前後に較べて可成り葉が多く、一層高蛋白質飼料を生産してくれます。

#### ○ 刈取適期の幅が広い

新黒千石は主茎無限伸長型に改良しており、従来の青刈大豆と異なって生殖生長(開花、結莢)に移行しても依然茎の伸長と着葉を続け、つまり花や莢をつけながら伸びるタイプの大豆で、落葉期も遅く、青刈期間の長い品種で、基幹飼料作物でなく、補助的に利用される作物であるだけに、基礎飼料(蛋白質)の不足を補うために少量ずつ長期に亘って利用するのに適した品種です。

#### ○ 種子は小粒

一、〇〇〇粒重量は「茶小粒」の一、一〇〇〜一二〇〇粒に対し「新黒千石」は小粒で九〇〜一〇〇粒前後、従って播種量は「茶小粒」の七〇〜八〇％程度でよく、一〇〇粒当五〜七センチ間に合、種子代の節減が出来ます。

## 牧草と園芸 三月号 目次

□ 牧草の大量要素欠乏症(完)

石塚喜明  
原田勇  
林満  
表二

□ 牧草の線虫(一)

湯原巖  
表三

□ 雪印改良 新黒千石の特性

日下部正雄  
表一

■ 酪農と気象

三浦梧楼  
表二

■ 飼料根菜類

北海道の今年の天候  
冷害の恐れじゅうぶん?  
表五

■ 飼料用根菜類の品種特性と栽培上の注意

佐々木俊生  
表九

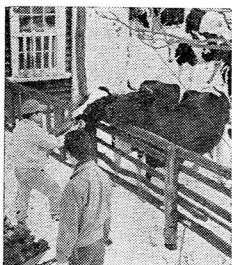
■ テオシントとソルゴーの栽培

近藤武由  
表二〇

■ 寒冷地のナスの品種と栽培

前川幸一  
表四

〈表紙写真〉 ちこそう来る



冷害に強く冬期の乳量確保には多汁質根菜特に家畜ビートは絶対です。そこで3,4月号で家畜ビートにいろいろメスを入れることにしました。